

原稿と写真の募集のお知らせ

「安寧の都市研究」編集委員会は、論文・レポート、写真、本誌へのご意見・ご感想など、皆さまからの本誌への投稿を歓迎します。

●論文・レポート

安寧の都市に関する論文や、先進事例などに関するレポートをお寄せください。随時受け付けます。原稿の文字数は、最小で1,500文字程度とし、上限は設けませんが、一つの論文またはレポートとして完結したものとなるよう留意してください。原稿の作成に関して、規定の様式はありません。皆さまが所属する学会などの原稿作成様式に則るなど、自由に作成してください。

題目・著者名・所属・連絡先住所・E-mailアドレスを記し、論文の場合には概要(和文300字程度)及びキーワード(5語程度)を記載することとします。また、論文・レポートに掲載する写真・図版は、印刷に耐えうる解像度の高いものをJPEGなどの汎用フォーマットでお送りください。匿名での投稿はお断りいたします。

採用・掲載された場合には、薄謝を進呈いたします。また、採用・掲載された論文で、安寧の都市研究の進歩、発展に寄与することが期待される、ユニークで将来性に富んだものと認められる著者に、「安寧賞」を授与いたします。

●「安寧の都市研究」表紙写真

皆さまが安寧の都市、あるいは、都市の安寧を表現していると思う写真をお寄せください。随時受け付けます。対象地が「都市」である必要は必ずしもありません。ご投稿いただく画像は、印刷(A4用紙横向き程度の大きさ)に耐えうる画像サイズ・解像度に留意し、色調などを調整のうえ、JPEGなどの汎用フォーマットでお送りください。

送付の際は、連絡先住所、E-mailアドレスと、写真のタイトル、どのような点で撮影対象に安寧を感じたかなど、写真の簡単な解説を300字以内でまとめた文章を、画像データとともにお送りください。

本誌の表紙に掲載された場合には、薄謝を進呈いたします。また、本誌の表紙として採用されなかった場合でも、本誌内、あるいは、安寧の都市ユニットのホームページに掲載する場合がありますので、ご了承ください。

●本誌に関するご意見・ご感想

本誌に関するご意見・ご感想をお寄せください(300字以内)。内容により、本誌に掲載する場合がありますので、ご了承ください。

なお、ご送付いただきました原稿・写真は返却致しませんので、ご注意ください。本誌およびホームページに掲載された論文・レポート、写真等の著作権は著作者に帰属いたしますが、著作者は掲載記事等の著作物の利用について、安寧の都市ユニットに許諾するものといたします。また、掲載記事は原則として安寧の都市ユニットホームページおよび京都大学学術情報リポジトリにて公開いたします。以上をご了承のうえ、ご投稿ください。

投稿の宛先は、以下のとおりです。投稿は、電子メールによるものとします。

E-mail: henshu@ulc.kyoto-u.ac.jp

「安寧の都市研究」編集委員会 宛

水面に浮かぶ光の柱を見て心の感性を慮る

川床・京都市 撮影・今村行雄

納涼床または川床は毎年、5月～9月に鴨川の川べりに座敷ができ、京料理を提供する京都の夏の風物詩である。安土桃山時代後期に豊田秀吉による三条、五条橋の架け替えをきっかけとして鴨川の河原が見世物や物売りにぎわい始め、河原に茶店がきたり、裕福な商人が河原に席を設けたりするようになった。これが川床の起源といわれ、祇園会(祭)の時には神輿洗いを見物する客で大変な賑わいとなったそう。時代が変わり、人の心は変われといえども、鴨川の水面はいつも変わらず心の賑わいを映し出している

